船橋の最北端を歩こう

小室コース

船橋市の最北端、神崎川周辺を歩き、川沿いの田園風景や公園・緑地を楽しむコースです。神崎川、小室調節池、水田など水場を好む生き物たちに出会えます。



オニヤンマ

黒と黄色の模様が特徴的な日本最大のトンボです。成虫は樹林のある水辺などに生息し、飛んでいる昆虫を空中で捕食します。きれいな水の砂泥に産卵します。

B3 神崎川沿いの道

市内の最北端を流れる神崎川沿いを歩きます。
神崎川に沿って水田や畑が広がり、その先の斜面林へと続きます。
神崎川では、カワウ、ダイサギ、カルガモ、カワセミなどが、周辺の田畑では、ホオジロ、ヒバリ、タヒバリなどが見られます。運が良ければ、ノスリを見ることができるかもしれません。
※ 夏場は草が生い茂り、歩きにくいこともあります。

2 小室調節池

調節池に沿うように進むと、西側に藤棚が見えてきます。池の道には、リョウブ、クサギ、ウワミズザクラ、ハリエンジュ、トチノキ、ヤブツバキ、シラカシ、ハコネウツギなど、たくさんの種類の木が見られます。水辺は水鳥やトンボの種類も多く、調節池ほとりの芝生でゆっくり休憩することもできます。

4 船橋最北端

船橋の最北端は田畑や果樹園が広がります。
この周辺の神崎川の水際や耕作地、用水路等では、運がよければ獣の足跡が見られることがあります。普段は姿を見かけないタヌキやニホンイタチなども足跡を通して、そこに生息していることを知ることができます。

タヒバリ

スズメより細身で、冬鳥として見られます。胸から腹にまだら模様があり、河川、田畑などでよく見られます。
「ピッピィー」または「チッチチー」などと細い声で鳴きます。

カワセミ

スズメより少し大きく、水辺の枝や岩の上に止まっている様子が見られます。水の中の小魚を飛び込んで捕まえます。
青色が美しい鳥ですが、実は光の干渉作用によって青く光って見える構造色とよばれるもので、実際の羽そのものの色は青色ではありません。「チーッ」「チチッ」と高い声で鳴きます。

6 小室4号緑地

この公園のメタセコイアの林は、春の新緑の芽吹きと、秋の黄葉が見事です。メタセコイアの他、入り口付近にはツバキが多数植えられ、少し奥に進むとハンノキが、一番奥まで進むとクヌギ、コナラの林が見られます。

ニホンアカガエル

平地や丘陵地の水田や湿地に生息する中型のカエルです。カエルの仲間では一番産卵が早く、1～3月に湿地などに産卵します。
「キョキョキョキョキョキョ…」と鳴きます。

ススキ

空き地や道端の日当たりの良い場所で見られます。秋には穂が金色に輝きます。良く似たオギには種子の先端に長い突起がないことで識別できます。

コース

全長4.4～4.5km

1	北総線小室駅	
		300m
2	小室調節池	
		600m
3	コース分岐点	
	Aコース A3 斜面林	Bコース B3 神崎川沿いの道
	850m	1000m
4	船橋最北端	
		1100m
5	小室北公園（進んだ先に下り坂あり）	
		650m
6	小室4号緑地	
		900m
1	北総線小室駅	

- ゴミは持ち帰りましょう。
- 動植物を大切にしましょう。
- 田畑の周辺や社寺等の敷地に立ち入る場合は、施設や他の利用者に迷惑をかけないようにしましょう。
- ヘビやハチに注意しましょう。

令和8年5月　船橋市環境部　環境政策課　発行